

2018年3月2日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

大分銀行に RPA による定型業務の自動化ソリューションを提供 業務を効率化し生産性の向上を支援

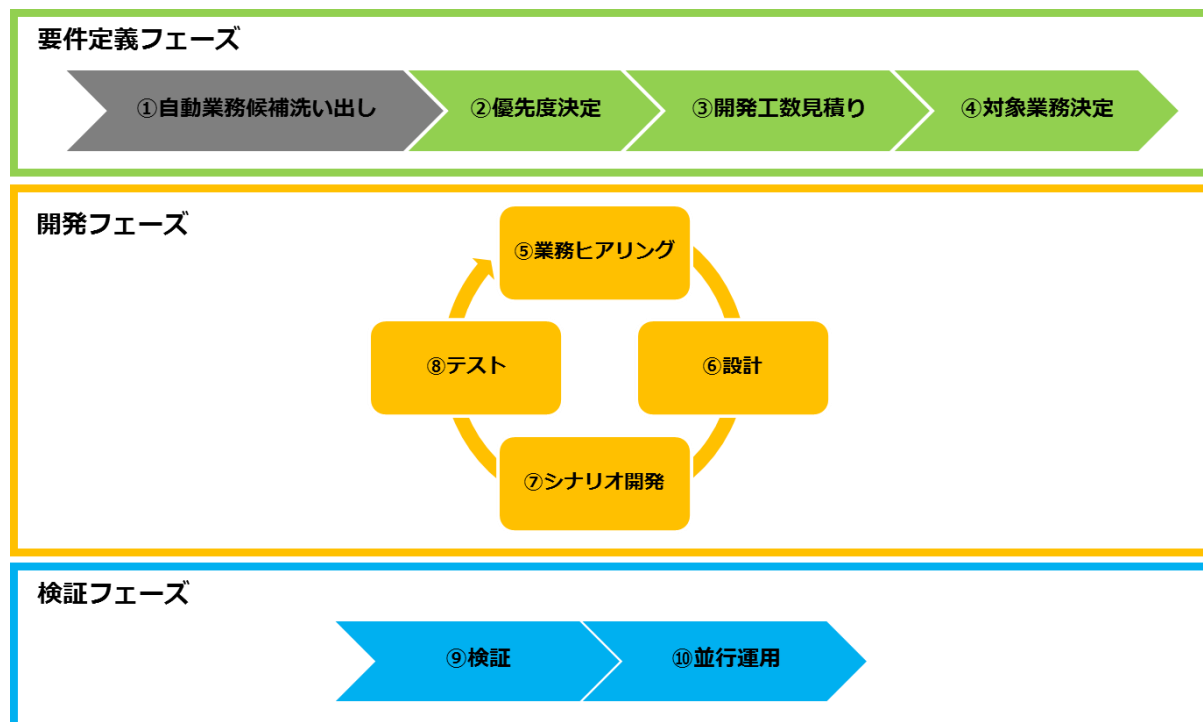
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:菊地 哲、本社:東京都千代田区、略称:CTC)は、株式会社大分銀行(代表取締役頭取:後藤 富一郎、本社:大分県大分市、以下:大分銀行)から、定型業務の自動化に必要なロボティック・プロセス・オートメーション(以下:RPA)*1ツールの導入及び開発を受注しました。

少子高齢化で労働人口の減少が見込まれる中、各企業は生産性の向上に向けて業務の効率化に取り組んでおり、パソコンの入力作業やデータの集計・加工などの単純な定型業務を自動化する RPA に注目が集まっています。金融機関では、マイナス金利政策やフィンテック企業などの急速な進展を受けて IT の活用が進んでおり、今回、大分銀行でも生産性を上げる施策として RPA の導入を決定しました。

大分銀行では、2017年10月から自動化できる定型業務の洗い出しを進め、報告書の作成や集計業務を含めた92項目を特定しました。既に融資に関する月次報告資料の作成業務を自動化し、年間80時間以上の削減効果を見込んでいます。順次業務への RPA 適用に関する検証を行っており、2018年度上期には、ローン実績や各種資料の作成、支店の営業報告集計などを含めた13の業務に RPA を適用する予定です。期待する削減効果は最大6,019時間で、定型業務を効率化し、お客様サービスの強化を図る方針です。

CTC は、RPA の活用について、シナリオ設計からツールの導入・開発、検証作業や効果の測定を担っています。今後も、金融機関をはじめとした様々な業種のお客様にも RPA を活用したサービスを展開することで、企業の生産性の向上に貢献していきます。

＜自動化業務のプロセス＞



*1 ロボティック・プロセス・オートメーション(RPA) : Robotic Process Automation の略で人が PC 端末で行う確認、判断、操作などの業務をソフトウェアロボットに学習させ業務プロセスを自動化させる技術。

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

＜本件に関するお問い合わせ先＞
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
広報部

TEL:03-6203-4100 / E-mail: press@ctc-g.co.jp